

# 平成25年12月期決算(連結)参考資料

2014年2月14日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<http://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

# 目次

1. 平成25年12月期決算	3
2. 平成26年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 第35回定時株主総会上程議案	9
5. 2014年の取り組みについて	11

# 1. 平成25年12月期決算

## ① 連結

(単位:百万円)

	平成25年	平成24年	増減	増減率
売上高	7,873	7,635	238	3.1 %
営業利益	360	269	90	33.6 %
経常利益	309	205	104	50.7 %
当期純利益	191	127	64	50.7 %

### 【概況】

当連結会計年度は、北海道における豪雪や、九州における夏から秋にかけての天候不順などの影響で、ホテル事業及びゴルフ事業は伸び悩んだものの春休みやゴールデンウィークなどの繁忙期の好天ならびに各種イベント及び前年夏に導入した大型アトラクションの効果により九州の遊園地事業が堅調に推移したため、前連結会計年度を上回る結果となりました。

### 【売上高及び営業利益】

売上高で238百万円増収に対して営業利益90百万円増益の主な要因は、主に遊園地事業の増収増益によるものであります。  
 (②のセグメント別表をご覧ください。)

### 【経常利益】

営業利益の増益額に対して、経常利益の増益額が多いのは、主に支払利息の減少による営業外損益13百万円好転によるものであります。

### 【当期純利益】

経常損益の増益104百万円に対して、法人税等の69百万円増加等により、当期純利益は64百万円の増益となりました。

② セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高			営業損益		
	平成25年	平成24年	増減	平成25年	平成24年	増減
遊園地事業	4,325	4,065	260	456	338	117
ゴルフ事業	1,008	1,043	△35	5	11	△6
ホテル事業	1,927	2,029	△102	25	47	△22
不動産事業	166	165	1	115	104	11
土木・建設資材事業	410	294	115	55	40	14
その他の事業	34	36	△2	△3	9	△13
消去又は全社	—	—	—	△294	△282	△11
合計	7,873	7,635	238	360	269	90

## 【遊園地事業】



**売上高**：九州の遊園地では、季節毎の多彩なイベントの開催や春休み及びゴールデンウィークなどの繁忙時が好天に恵まれたこと、前年夏に導入した大型アトラクションが好評であったことなどにより、279百万円(8.1%)の増収となりました。

北海道の遊園地では、冬季の記録的な豪雪及び凍えたゴールデンウィークであったものの、5月後半以降は盛況なイベント等で盛り返し8百万円(1.3%)の増収となりました。

以上に、賃借している土地の賃貸人との合意解約により4月30日で営業終了した、九州のモータースポーツ施設「モビリティおおむた」の営業終了までの売上等を加えまして、遊園地事業の売上高は前期比260百万円増収(6.4%)の4,325百万円となりました。

**営業利益**:売上高の増収に加え、園内清掃等管理業務の直営化等による経費節減も奏功し、117百万増益(34.6%)の456百万円となりました。

## 【ゴルフ事業】

**売上高**：直営3ゴルフ場では様々なイベントの開催や、コースの整備・改良、クラブハウス内設備の改修・省エネ化を実施してまいりました。また、メンバーズゴルフ場においては高額会員権保有者及び長期会員権保有者に対する特典を追加することで会員権価値を向上させ、会員権の安定保有を図りました。さらに会員がその資格を有したまま株主となる特典による会員数の維持及び預託金返還による資金流出の防止を目的として、会員が所有するゴルフ会員権の預託金返還請求債権の一部を出資の対象に、自己株式の第三者割当を実施しました。また、これまでの韓国及び中国のゴルフ場との連携に加え、国内においても、北海道岩見沢市の「エムズゴルフクラブ」と相互施設利用契約を締結いたしました。

以上の取り組みを行ってまいりましたが、3ゴルフ場とも、近隣ゴルフ場との激しい競争により、売上高では前期比35百万円減収(△3.4%)の1,008百万円となりました。

**営業利益**:費用の徹底的な削減により、営業利益につきましては、前期比6百万円減益の5百万円となりました。

## 【ホテル事業】

**売上高** :九州・北海道の各ホテルが特色あるイベントの開催や商品造成(九州のホテルでの「くまモン」をテーマとした「ゆるっくまルーム」やクリスマス限定で1泊50万円の宿泊プランの造成など)に取り組み、利用者の拡大に努めた結果、九州のホテルでは宿泊者数は増加しましたが、北海道のホテルの宿泊者数の減少や宴会・婚礼の売上高が減少しました。

九州2ホテルあわせて前期比54百万円の減収(△3.5%)、北海道2ホテルあわせて前期比47百万円の減収(△8.1%)となりホテル事業の売上高は、前期比102百万円減収(△5.0%)の1,927百万円となりました。

**営業利益**:前期比22百万円減益(△46.3%)の25百万円となりました。

## 【不動産事業】

**売上高** : ゴルフ場に隣接する当社社有地に「メガソーラー事業」を誘致し、4月19日から社有地の一部の賃貸を開始したため、売上高は前期比1百万円(1.1%)増収の166百万円となりました。

**営業利益**:前期比11百万円増益(+11.0%)の115百万円となりました。

## 【土木・建設資材事業】

**売上高** :受注工事が順調に推移し、前期比115百万円増収(39.3%)の410百万円となりました。

**営業利益**:売上の増収にともない、前期比14百万円増益(35.9%)の55百万円となりました。

## 【その他事業】

**売上高** :労働者派遣事業、ギフト商品販売及び保険商品販売業につきまして、前期比2百万円減収(△7.3%)の34百万円となりました。

**営業利益**:対前期13百万円減益(△138.6%)の△3百万円となりました。

## 2. 平成26年12月期業績予想

(単位:百万円)

	平成26年予想	平成25年実績	増減	増減率
売上高	7,820	7,873	△53	△0.7%
営業利益	320	360	△40	△11.3%
経常利益	280	309	△29	△9.6%
当期純利益	180	191	△11	△6.1%

上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる可能性があります。

### 3. 業績推移

#### 連結(通期)

(単位:百万円)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年予想
売上高	7,725	7,329	7,635	7,873	7,820
営業利益	293	170	269	360	320
経常利益	195	92	205	309	280
当期純利益	119	57	127	191	180



## 4. 第35回定時株主総会上程議案

### ①剰余金処分の件

当社は、株主の皆様への配当を経営における最重要課題の一つと位置付け、業績に応じた配当を行うことを方針としています。

当社の当期の純利益が191百万円(前期比64百万円増)となり、過去10事業年度における最高益であることを踏まえ、期末配当は1株につき6円といたします。

(参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	4円00銭 普通配当2円00銭 特別配当2円00銭	6円00銭 普通配当5円00銭 特別配当1円00銭	10円00銭 普通配当7円00銭 特別配当3円00銭
前期実績 (平成24年12月期)	2円00銭 普通配当2円00銭	4円00銭 普通配当4円00銭	6円00銭 普通配当6円00銭

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期(当期)
第2四半期末	2円00銭	2円00銭	2円00銭	2円00銭	4円00銭
期末	5円00銭	4円00銭	4円00銭	4円00銭	6円00銭
年間	7円00銭	6円00銭	6円00銭	6円00銭	10円00銭

※なお、1株当たりの年間配当が10円となるのは、第24期(平成14年12月期)以来11年ぶりとなります。

## ②役員賞与支給の件

当社の平成25年12月期の純利益が191百万円(前期比64百万円増)となり、過去10事業年度における最高益であることを勘案して、役員賞与を総額7百万円支給します。

※なお、当社連結子会社につきましても役員賞与を総額3百万円支給する予定です。

## ③取締役および監査役の報酬額改定の件

当社の取締役および監査役の報酬額は、平成2年6月29日開催の第11回定時株主総会において旧商法の規定に基づき承認いただき役員賞与を含まない額となっておりますが、現在の報酬額の範囲内に役員賞与を含めるものとして改定します。

## 5. 2014年の取り組みについて



### ①これまでの主な取り組み

#### 【2012年度以前の取り組み】

- 空知リゾートシティ(株)、岩見沢市より「いわみざわ公園」及び「北村温泉ホテル」の管理業務を受託
- 蔚山カントリークラブ、中国南山ゴルフグループ、釜山カントリークラブ、パミーヒルズカントリークラブ、昌原(チャンウォン)カントリークラブと相互施設利用契約締結
- 遊園地駐車場敷地内にナフコ荒尾東店オープン
- 遊園地カウントダウン営業を2部構成とし、入園券をアトラクション1回利用券付として大人2,000円、小人1,000円で販売(2011年～)
- 集客事業毎(遊園地・ホテル・ゴルフ場)のホームページにブログを開設し、情報発信を強化
- グリーンランド(熊本)で九州初登場の新規アトラクション「スターフライヤーゴクウ」、「カード迷路『ぐるり森大冒険』」オープン
- グリーンランド(熊本)でフリーパス料金の改定及びシニア料金の年齢を65歳以上に変更

#### 【2013年度の取り組み】

- 外部委託していた遊園地・ホテル・ゴルフ場の管理業務を、グループ企業での実施に切替え直営化を取り進める
- 遊園地及びホテルにおいてイルミネーションの拡充により魅力度の向上を図る
- グリーンランド(熊本)において日本最大級の高さ5メートルの「くまモン」立体像を設置
- 遊園地カウントダウン営業において、コンサートの特別観覧席をセットにした前売券を販売する等、単価増を図る
- 北海道岩見沢市のエムズゴルフクラブと相互施設利用契約締結(初の国内ゴルフ場との提携)
- 大牟田ゴルフ場・広川ゴルフ場の会員権の預託金返還請求債権の一部を出資の目的とした、自己株式の第三者割当を実施
- 長期会員権保有者及び高額会員権保有者への特典追加により、会員権価値の向上させることで会員権の安定保有を図る
- ゴルフ場に隣接する社有地にメガソーラー事業を誘致し、社有地の一部賃貸を開始
- ウルトラマンランドの営業終了に伴う跡地利用の一環として、ホテル駐車場・バス停・タクシー待機スペースを造成
- 株主優待制度において、1万株以上の株主に対し北海道又は九州の地域特産品を追加設定し、株主の拡大及び株式の安定保有を図る
- グループ企業内の税務面の統制、税務リスクの低減を目的として、連結納税制度の適用を申請(2014年度から導入)
- 有明リゾートシティ(株)とグリーンランドサービス(株)の合併により有明リゾートシティ(株)が園内のショップ3店舗の営業、ギフト販売事業及び生損保保険代理店業を承継し、収益向上を図る
- グリーンランドサービス(株)が当社の各事業部門に出向派遣していた社員を直接雇用に変更
- 大型園内ショップ2店舗の営業撤退に伴い、有明リゾートシティ(株)が営業を承継

## ②各事業の取り組み

当社は平成26年9月25日に創業50周年を迎えます。

この大きな節目の年を迎えるにあたり、事業部門毎に集客のための各種施策を打ち出し、業績の向上に努めてまいります。

### 【遊園地事業】

#### ①グリーンランド遊園地(九州)

##### ■春イベント(3月1日～6月1日)

※上記以外に、6月の土・日にショー開催

##### ・2014こども博 超決戦バトルステージ

第一部「獣電戦隊キョウリュウジャー 超決戦バトルステージ」3月1日～3月28日(28日間)

第二部「仮面ライダー鎧武／ガイム 超決戦バトルステージ 昭和英雄伝」3月29日～4月25日(28日間)

第三部「仮面ライダー鎧武／ガイム 超決戦バトルステージ 平成英雄伝」4月26日～6月1日(37日間)、  
6月の土・日(8日間)

##### ・マジ展-マジカルアドベンチャー-inグリーンランド(3月15日～5月6日)

マンガやアニメ等が10代から20代の女性を中心に人気を集めている「マジ」を題材とした展示イベントを開催

##### ■夏以降も、季節毎に話題性の高い題材を選定し、ここでしか見ることのできないイベントを開催

##### ■入園料を改定(6月2日から)し、遊園地のハードウェア、ソフトウェアの両面においてさらなる拡充・改善に一層注力する

## 【遊園地事業】

### ②北海道グリーンランド遊園地

#### ■春イベント

- ・わんわん大サーカス:4月26日～6月1日(37日間)
- ・仮面ライダー鎧武のショー:5月3日～6日(4日間)
- ・ハピネスチャージ プリキュア!のショー:5月3日～6日(4日間)
- ・スペシャルイベント

5月18日:「プリキュアオールスターズがやってくる！」

5月25日・6月1日(2日間):仮面ライダー鎧武&ウィザードのショー

#### ■夏には大型コンサートイベント「JOIN ALIVE」(ジョインアライブ)を開催

#### ■フリーパスの料金を改定し、売上高の増加及び遊園地のハードウェア及びソフトウェアの両面の拡充・改善に取り組む

#### ■遊園地内での遊具の保守点検の・ノウハウを活かし、外部における施設のサポート(メンテナンス)にも取り組む。

## 【ゴルフ事業】

- 3ゴルフ場ともに、様々なイベントの開催、営業部との連携強化による各種団体組織へのセールスやネット販売を効率的に活用することにより集客を図る
- キャディ付ゴルフ場の強みを発揮するため、キャディ付プレイの特典を充実させ、さらなる差別化を図る（大牟田ゴルフ場・広川ゴルフ場）
- 乗用カートのリニューアルや浴室改修のほか、ティーインググラウンドやグリーンの整備、コース景観の改善等によるコースづくりに取り組む
- 韓国・中国の5ゴルフ場及び北海道岩見沢市のエムズゴルフクラブとの相互施設利用において、メンバー交流推進による集客を図るとともに、グリーンランドゴルフコースの付加価値やメンバーズゴルフ場の会員権の価値向上に引き続き努める

## 【ホテル事業】

### ホテルブランカ・ヴェルデ

#### ■遊園地・ゴルフ場の宿泊拠点としての役割・機能強化

・ホテルヴェルデにオープンカフェテラスを新設し、エントランス周りのリニューアルによる新たな需要拡大に取り組む

・昨年オープンしたカフェ&バー「グリーンスター」を婚礼及び二次会会場として積極的に販売するとともに、レストラントレヴィに高級感を持たせることで、あらゆる層の顧客ニーズに応え、利用者の獲得を図る

・館内外のイルミネーションを利用した特別演出プランによりレストラン・婚礼部門における集客を強化

・遊園地内のショップにPRコーナーを新設し情報発信に注力する

#### ■くまモンをテーマとした「ゆるっくまルーム」に加え、遊園地の春のイベント開催にあわせ「仮面ライダー 鎧武／ガймルーム」を期間限定で新設し、特徴ある商品づくりに努める

#### ■商品販売業・保険代理店業における営業活動の強化、取扱商品の拡充

### ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

#### ■変化に富んだ商品・サービスの展開に取り組む

■エムズゴルフクラブとの相互施設利用提携を活かし、九州からの宿泊者の獲得を図る

■北村中央公園・桜つつみ公園の指定管理者業務を受注し、北村温泉エリアを一体とした魅力ある商品開発に取り組む

## 【不動産事業】

・新規テナントの誘致に向けた活動を強化

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

昭和41年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始

昭和41年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始

昭和43年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始

平成 6年10月 ホテルヴェルデ営業開始

平成 7年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン

平成10年 3月 天然グリーンランド温泉「弥生乃湯」オープン

平成15年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン

平成17年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン

平成18年11月 グリーンスマイル1番館オープン

平成20年 4月 グリーンスマイル2番館オープン

平成23年 9月 ナフコ荒尾東店オープン

平成25年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始



## 【土木・建設資材事業】

- ・既存事業による収益確保
- ・機械装置や技術者の有効活用及び土木建設工事の積極的な受注・建設資材の販売強化による収益体制の底上げ